

ae 横手市

# 社協だより

No. 21  
2011.6.30

みんながつくる みんなの福祉

横手市社会福祉協議会



父ちゃん 豆腐で 大奮闘！

～平成23年度「よこて父ちゃんの楽校」が開校～



# たすけあおう! 東北

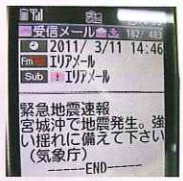


# 希望

この度の東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りすると共に被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

## 3月11日午後2時46分、かつて経験したことのない大きな揺れが東日本全域を襲った。冷静に受け止められなかった、あの巨大地震から4か月…。

日本中、そして世界中に支援の輪が広がり、被災地では着実に復興へと向かっています。  
 「明日から学校が始まる。友達に会えるから、つらいけど行ってみる。」  
 「遠方からボランティアの方々がたくさん来ている。私たちがしっかりしないとダメだろ?」  
 「今回の震災と津波によって失うものが多すぎたけど、もう失うものなんてないでしょ?それならば、生き残った私たちがしっかりしないと、亡くなった方々に申し訳ない。」・・・被災地での声  
 現在でも行方不明となっている方や避難所生活をされている方、また横手市内に避難されてきた方が多数いらっしゃいますが、不安や疲労の中でも、強い意志を持って希望へとつながる道を歩まれています。そして、その方々や地域を支援している横手市民や機関、団体、企業の皆様がいいます。



### ～大船渡市ボランティアセンターへ職員派遣中～

社会福祉協議会でも、県内外の社協と共に、4月から定期的に被災地のボランティアセンターへ職員を派遣し、ボランティアの受け入れや活動支援などを行っています。  
 ※現地での活動やボランティア保険に関するご相談は、横手市災害支援ボランティアセンター(社会福祉協議会内:電話36-5377)へ。



# 義援金ありがとうございました

## 福祉協力員の皆様のご協力に感謝いたします

### 東日本大震災義援金受付状況(横手市共同募金会受付)

総額 **19,006,611円** (5月31日現在)

横手	6,658件	4,859,477円	十文字	3,280件	2,669,034円
増田	2,188件	2,027,381円	山内	1,007件	1,012,420円
平鹿	3,152件	3,532,022円	大雄	1,288件	1,334,513円
雄物川	1,406件	1,656,881円	本部	2件	415,925円
大森	1,450件	1,498,958円			



市共同募金会 武藤会長(左)より県共同募金会 前川前会長(右)に目録をお渡ししました。

皆様からお寄せいただきました義援金は県共同募金会にお届けいたしました。なお、戸別訪問による義援金の募集は終了しましたが、引き続き9月28日まで各福祉センター窓口にて受付しておりますので、今後もご協力をお願いいたします。

## 横手からの復興支援

### ボランティアグループ「SRP」 (=Stomach Rescue Party 胃袋レスキュー隊)

～対岸の火事ではなく隣の火事。隣ならすぐに助けにいける～



東日本大震災を受け、何かできないかと釣り仲間が中心となって結成されたボランティアグループ「SRP」。通称「胃袋レスキュー隊」、その名前のとおり被災地での炊き出しなどの活動を行っています。

「SRP」は、4月から5月にかけて、大船渡市や陸前高田市、大槌町で避難者や医療スタッフ等への炊き出しを行いました。時間が経過した今でも現地の惨状は変わってないとのこと。復興には“人の手”が一番必要であり、日本が一丸となり国民総参加による支援がなければ時間が掛かるとも感じてきました。

この活動を通して、被災地の現状と感じたことを伝えることが、自分たちの仕事であり、今後は、炊き出し以外の支援も行っていきたいとのこと。

※「SRP」の活動状況はコチラ↓

ブログ「がんばろうぜ」 <http://stomachrescueparty.seesaa.net/>



## R107チャリティコンサート

～音楽で勇気と元気を！被災地の仲間のためにできること～

「被災し楽器を失った仲間たちの力になろう」との呼びかけから、市内国道107号線の沿線にある小・中学校と高等学校の吹奏楽部が賛同し、5月1日に市内でチャリティコンサートを開催しました。

元気と勇気をテーマにしたステージのほか、募金協力の呼びかけが行われ、集まった募金(約42万円)は関係機関を通じて、被災地へ支援金として贈られます。(参加校:吉田小学校、平鹿・雄物川・大森・大雄各中学校、平成・雄物川各高校)



横手市からも様々な支援活動が行われており、今回の震災では“被災地のために何かしたい”、その想いが一気に膨れ上がったと感じています。

「もし、ここで大きな災害があったら…」、もちろん被災された方や被災地を支援することも大切ですが、私たちの住む横手市にも目を向け、希望ある将来に向けて“被災地となるために何かしたい”との想いも大切にしていきたいと思えます。



## 豆腐&豆腐料理づくりにチャレンジ! よこて父ちゃんの楽校「父ちゃんのための料理教室」

今年で4年目を迎えた「よこて父ちゃんの楽校」が6月11日にさかえ館で開催されました。今回は「豆腐と豆腐料理づくり」が行われ、参加者18名は講師の説明を受けながらチャレンジしました。

参加者は「本当に豆腐になるのだろうか」との不安を抱えていましたが、完成時には市販の豆腐にも負けない個性的な出来栄に、会場が感動に包まれました。豆腐のほか、おから料理なども作られ、講座修了後、自分たちで作った“傑作”の味を堪能しました。

夏以降も参加者の皆さんと一緒に「授業」を企画していきます。



調理の前に不安と期待が混じっています



会心の自信作！早く食べたい…

## 傾聴・・・目を傾け、心で聴きます 西部地区傾聴ボランティア研修会

傾聴ボランティアとは、相手の話に耳を傾けて聴くことにより、心の負担を和らげ、気持ちの整理ができるようお手伝いする活動です。西部地区(雄物川・大森・大雄)では、平成21年度から2年間、傾聴ボランティア講座を開催しており、傾聴技法やコミュニケーションの取り方などを学んできました。

「傾聴が必要とされる場で、学んだ内容を活かしてみたい」との、一部受講者の要望により、5月25日と6月13日に特別養護老人ホーム雄水苑で、実戦に向けた研修会が開催されました。これまで学んできた技術と熱い想いを胸に、7月から本格的な活動に入る予定です。



活動の心得などを学びました



活動場所の確認も熱心に

## お届けします。福祉の情報 ふくし出前事業

福祉を学ぶ「ふくし出前事業」が、今年も始まりました。5月27日は十文字第一小学校で6年生90名が、6月2日は大森小学校で6年生44名が、県車いす連合会県南支部の方や社協職員の指導により、車いす体験と疑似体験セットを使っての高齢者体験を行いました。

子供たちからは「介助する相手を驚かせないように気遣いが必要と感じた」「近くに人がいないと不安な気がした」「みんなが元気で同じ暮らしができる地域をつくりたい」「困っている人がいたら、手をさしのべてあげようと思った」との感想が寄せられ、「思いやり」や「たすけあい」の心が確かに育まれた活動となりました。

### 《ふくし出前事業》

地域の会館や公民館、学校に出向いて次のメニューなどを行っています。

「高齢者疑似体験、車いす体験、視覚障がい体験、点字体験、聴覚障がい体験、手話体験、介護体験、入浴車展示・体験、介護“食”体験、レクリエーション体験など」

講座の実施を希望する場合は、最寄りの福祉センターまでご連絡願います。



普段は気にならない場所でも…(大森小)



段差を介助してもらいながら(十文字第一小)



私の生きがい、ここで見つける

## ミニデイサービス (自立者支援通所事業)



外で春を満喫しました(山内)



お口の健康を学んでいます(増田)

横手市から委託を受け、各地域でミニデイサービスを行っています。山内地域では、早春の風を感じながらのグラウンドゴルフや暖かな日差しを受けながらの大松川ダム公園「芝桜園」の散策などで春の一日を楽しみました。

また増田地域では、サービスの向上を図ろうと、ご利用者からご意見や要望をお伺いしました。「友達が増え、いろいろな話を聞ける」「みんなで一緒に一つのことを行う連帯感が心地よい」とのご意見のほか、「新しい内容を考えてほしい」といったご意見もありました。各地域からのご意見を伺いながら、サービスの向上につなげて参りますので、皆様のご利用をお待ちしております。

また増田地域では、サービスの向上を図ろうと、ご利用者からご意見や要望をお伺いしました。

## 地域の話題



地域の“絆人”に聞きました

### 石井新一さん (旭地区福祉協力員・野協いきいきサロン代表世話人)



石井新一さん

笑顔の絶えない交流の場、そして学びの場として10年以上続く野協いきいきサロン。そのサロンの中心となっているのが、代表世話人の石井新一さんです。石井さんは当サロンの世話人のほか、横手地域のいきいきサロン代表世話人会会長、そして旭地区福祉協力員として活動されています。

「サロンは支えあいの精神を共有することができる大事な場所。福祉協力員は『福祉』を手伝う、なくてはならない大切な組織。どちらも両立して行っているからこそ、もちつもたれつの精神で、地域との連携がスムーズになり、つながりが強くなった。」と、石井さんは地域の

の変化と確かな前進を感じられており、地域に貢献できている喜びが意欲につながっているとのことでした。

石井さんは「これからも地域の皆さんからご協力をいただきながら、この活動を続けていきたい。」と語ってくださり、今日も地域のため精力的に活動されています。



月1回のみんまで集う交流の場(野協いきいきサロン)



まごころ込めて育てよう “人権の花”

### 人権花の運動 植栽式



人権擁護委員の指導による花植え

6月10日、浅舞小学校にて「人権の花運動」の植栽式が行われました。式典には6年生と市内の人権擁護委員などが参加し、児童を代表して内藤志桜里さんが「みんなで力を合わせてこの花を育てることで、やさしい心を持ち、思いやりの輪を広げていきたいです。」と誓いました。

また、式典後の花植え作業では、色とりどりの花の苗を植えました。今後は4・5年生の児童も参加して水やりなどを行い、育てられた花は福祉施設等へ贈られる予定です。この運動を通じて、人権の大切さについて理解すると共に、福祉の心が育まれることを期待しています。



大きな花を咲かせるよ



Pick Up!!

わたしの

社協

# 私たちの自慢はお風呂! 心も体も楽しくなるデイサービスを めざしています

## 雄風荘 指定通所介護事業所



雄風荘の看護職員、島山亜紀子です。私は県外の病院に勤務していましたが、結婚して秋田に戻る際に、地域に密着した仕事がしたいと考え、地元の雄風荘に勤めました。

日々の看護業務をする中で、ご利用者様に笑顔で過ごしていただけるよう心がけています。

雄風荘の一番の自慢は、何と言っても近くの温泉「えがおの丘」と同じ泉質のお風呂に入浴していただけることです。ご利用者様からは「温泉に入っているから、風邪は引かないんだよ。」という声をいただいております。

“心も体も楽しくなるデイサービス”を職員みんなでめざしていますので、今後ともよろしく願っています。



事業所名/横手市社会福祉協議会  
雄風荘 指定通所介護事業所  
所在地/横手市雄物川町今宿字末館47番地2  
電話/22-3400  
FAX/22-3401  
営業日/月~土曜日(12月31日~1月3日を除く)  
営業時間 9:30~16:00

福祉を詠んで心豊かに

# ふくしり柳

横の手を

つないでさず(づ)く

我が横手

次号から「ふくしり柳」のコーナーが始まります。毎回テーマを設定しますので、そのテーマに沿った川柳をお考えいただき、募集要項をご確認の上ご投稿ください。

### ◎次号のテーマ「支えあい、助けあい」

三月の震災では、隣近所や地域のつながりの大切さが再認識されたのではないかと思います。第一回目の今回は生きていくためには欠かせない「支えあい、助けあい」をテーマにした川柳を募集します。

《例》

一、人と人 支えあって 成り立つよ

一、遠くても 助けはあなたの すぐそばに

### 募集要項

応募資格 市内在住の方ならどなたでも

応募方法

作品と氏名、連絡先(可能な範囲で)をご記入の上、ハガキやFAX・メールなどご応募ください。(様式は問いません)なお、応募作品は返却いたしませんので、ご了承願います。

応募先

横手市社会福祉協議会 本部 地域福祉課  
〒013-0072 横手市卸町五ー一〇 卸町ビル二階  
FAX: 三六一五三八八

広報掲載

e-mail: tiki@yokote-shakyo.jp (件名にふくしり柳とご入力下さい)  
寄せられた作品の中から数点を選考させていただきます。作品名と氏名等を掲載いたします。

たくさんのご応募をお待ちしています



# お知らせ広場

## 憩寿園でのボランティアを募集します

憩寿園では、下記のボランティアを随時募集しておりますので、ご協力いただける方は憩寿園（電話42-2510）までご連絡ください。

### ボランティア内容

- ①施設敷地内の草刈・除草作業
- ②車イス等の施設備品の清掃・整備
- ③清拭布縫い・衣服の補修

## かいご教室のご案内

介護負担の軽減を目的とし、短期で習得できる知識や技術を学ぶ講座を7月から来年3月まで毎月開催します。介護に関心のある方はどなたでも参加できます。日程や内容等については後日、チラシでお知らせいたします。お問い合わせは本部地域福祉課（電話36-5377）までご連絡ください。



## 平成23年度ホームヘルパー養成研修(2級課程)講習を開催します

- 対象者** ①全日程の受講が可能な方（必須）  
②横手市内に居住し、地域において介護職に従事することを希望する方  
③年齢が満50歳以下の方（性別は問いません）
- 定員** 24名（申込者多数の場合は選考となります）
- 研修期間** 平成23年8月24日（水）から11月25日（金）までの27日間  
※原則として毎週月・水・金曜日の9：00～16：00
- 会場** 十文字福祉センター集会所 ふれあい館（十文字町梨木地区）  
※講習内容により会場の変更・移動あり
- 受講料** 25,000円（テキスト代・保険料他）
- 修了証書** 全研修課程を修了した方に対し、修了証書及び携帯用修了証書を交付します。
- 申込期間** 平成23年7月20日（水）から8月3日（水）
- 申込先** 最寄りの福祉センター（平日8：30～17：30）
- 問合せ先** 横手市社会福祉協議会 本部 事業運営課  
電話36-5377（平日8：30～17：30）

# 善意

ありがとうございました

（平成23年3月1日～5月31日受付分）

※広報発行回数の関係上、紙面への掲載が遅れますことをご容赦願います。

※「善意」の受付は、お住まいの地域の横手市社会福祉協議会各福祉センター・施設で行っております。

### 【横手福祉センター受付】

- 横手市賛詞交換会実行委員会様
- 舞ドリーム様
- 藤本正吉様（安田）
- 高橋信夫様（山内）
- 安藤詔子様（上真山）
- 赤川裕子様（新北）
- 高橋政実様（福島）
- 村上陸様（末広町）
- 佐々木有紀様（末広町）
- 齊藤真樹子様（根田谷地）
- 加藤良子様（下町）
- 齊藤フミ様（新町）
- 横手市連合婦人会様
- 佐々木妙子様（新栄町）
- 黒崎由紀様（碓）
- 横手市勤労者互助会女性部様
- 演歌クラブ様

### 【増田福祉センター受付】

- 天童順子様（関ノ口）
- 石橋哲男様（上町）
- 見田忠様（荻袋）
- 内藤傳一様（戸波）
- 渡部良一様（関ノ口）

### 【平鹿福祉センター受付】

- 醍醐婦人会様
- 浅舞婦人漬物研究会様
- よねや浅舞店様

### 【雄物川福祉センター受付】

- 佐野昭一様（大沢中一）
- 坪井幸子様（新丁）
- 雄物川地域老人クラブ連合会様

### 【大森福祉センター受付】

- (有)大沼モータース様

### 【十文字福祉センター受付】

- 神原 實様（八兵工丁）

### 【大雄福祉センター受付】

- 小野常夫様（藤巻）
- 滝 悟様（精兵村南）

### 【平寿苑受付】

- 傾聴ボランティアささやき様
- (株)ヤマダフーズ様

### 【憩寿園受付】

- 傾聴ボランティアささやき様
- 高橋圭吾様（中央町）
- 黒澤啓子様（中央町）
- 横手ユネスコ協会様
- 織田祐子様（仁井田）
- 高橋栄美子様（中央町）
- 十文字地域老人クラブ連合会女性部様
- 佐藤守様（志摩）
- (株)ヤマダフーズ様
- 菊地京子様（西上町）
- 高橋儀一郎様（新佐吉開）
- NTT東日本秋田グループ様
- NTT秋田社会貢献推進会議様
- 十文字地区婦人会様

- 梨木婦人会様
- JA秋田ふるさと助け合いほのぼの会様
- 細川良一・細川誠子様（腕越）
- 藤原健一様（栄町）
- 神原 實様（八兵工丁）

### 【雄水苑受付】

- 館合婦人会様
- 佐々木昌吾様（薄井）
- 大石勝征様（横手）
- (株)ヤマダフーズ様
- 岩佐優子様（東京）
- 尾形雅子様（横手）
- 宮田里美様（十文字）
- 亀谷くに子様（横手）
- 雄川ハーモニカ同好会様
- 大森保育園児様
- 日本動物病院福祉協会様



この度の震災を受け、岩佐様より雄水苑に発電機、灯火類をいただきました。非常時や行事等に活用させていただきます。





# ふくしな 人たち



部長 高橋 由紀さん (3年)  
副部長 田口 光さん (3年)  
部員 伊勢 彩乃さん (1年)  
部員 備前 真結さん (1年)  
部員 大門 歩実さん (1年)

写真…左下：高橋さん、右下：田口さん、  
左上：伊勢さん、中上：備前さん、  
右上：大門さん

## 秋田県立横手高等学校 JRC同好会

JRC (Junior Red Cross) とは…

青少年赤十字の略語であり、主に小学校から高等学校の学校教育の中で行われ、日常生活において社会貢献、国際親善を实践していこうという活動です。

### 「Volunteer Is “Wonderful” !!! ～私たちのメッセージ～」

こちらの取材に礼儀正しく、丁寧にはっきりと答えてくれた横手高等学校JRC同好会の皆さん。同好会に入った動機は、将来のことや中学生時代の体験からなど様々ですが、みんなが目的意識をしっかりと持ち一丸となって活動に取り組んでいます。

主な活動として、施設での話し相手や行事等の手伝い、募金活動などを行っており、今後は更に、自分たちのできる範囲で3月の大震災被災者のための支援活動を進めていく予定です。

様々なボランティア活動を通して、一人一人、その方に合わせて接することの大切さに気づいたとこのことで、学校や友人、家族だけではなく、様々な人たちと積極的にコミュニケーションをとって地域とふれあい、こうした経験を今後の進路や地域のために活かしていきたいと語ってくれました。

今回の“ふくしな人”からのメッセージ「ボランティアってすばらしい」。その想いがこれからの福祉を動かしていきます。

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により  
「住みよい福祉のまちづくり」を進めていく民間の団体です。

横手市社会福祉協議会本部 TEL.0182-36-5377 FAX.0182-36-5388  
横手福祉センター TEL.0182-33-8668 FAX.0182-33-8778  
増田福祉センター TEL.0182-45-4848 FAX.0182-44-7867  
平鹿福祉センター TEL.0182-24-3283 FAX.0182-24-3286  
雄物川福祉センター TEL.0182-56-2072 FAX.0182-23-1817  
大森福祉センター TEL.0182-26-3274 FAX.0182-26-4547

十文字福祉センター TEL.0182-42-5858 FAX.0182-42-4577  
山内福祉センター TEL.0182-53-3009 FAX.0182-53-3024  
大雄福祉センター TEL.0182-52-3311 FAX.0182-52-3444  
特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.0182-38-7011 FAX.0182-38-7012  
特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.0182-22-4561 FAX.0182-22-3607  
特別養護老人ホーム憩寿園 TEL.0182-42-2510 FAX.0182-42-2555

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号  
TEL0182-36-5377 FAX0182-36-5388 E-mail syakyou5@agata.plala.or.jp  
この広報に関するご意見ご感想をお待ちしております。

のばした手 やさしさあふれる 希望の手